

---

# THE CARLYLE GROUP

---

報道関係各位

2016年3月10日  
カーライル・グループ

## 日本一の売上を誇るもやしブランド「名水美人」を擁する九州ジージーシーを 中心とする GGC グループとの戦略的業務資本提携に関するお知らせ

グローバルに展開するオルタナティブ投資会社であるカーライル・グループ（日本共同代表：安達保/山田和広、本社：米国ワシントン D.C.、以下カーライル）は本日、日本一の売上を誇るもやしブランド「名水美人」を擁する九州ジージーシー（代表取締役：水本勝清、本社：大分県、1990年設立）を中心とする GGC グループ（以下 GGC）との戦略的業務資本提携の合意に至り、国内向け企業投資の第3号ファンドであるカーライル・ジャパン・パートナーズⅢがそのための資金拠出を行ったことを発表しました。

今回戦略的業務資本提携を結んだ GGC は、日本名水百選に数えられるほどの水に恵まれた地域に本拠を持ち、名水、優れた製造技術ノウハウ及び地元根深に根差したサプライチェーンを武器に、西日本 No.1 のもやし市場シェアを獲得しています。同社のメインブランドである「名水美人」は日本一の売上を誇り、食感と日持ちにおいて消費者から高い支持を受けています。昨今の食料事情から、食の安全が求められる中、代表取締役の水本勝清社長の指揮の下、高品質且つ安全なもやしを継続的に一般家庭の食卓に届けており、今後は、国内カット野菜市場における更なる拡販を目指すとともに、日本におけるもやし業界のリーディングカンパニーから、創業理念である“グローバル・グリーン・コーポレーション”（もやしを中心とする、高品質且つ安全な工場生産野菜を世界の食卓にお届けする）への進化を実現することを目指しています。

今回の戦略的業務資本提携から、カーライルは消費財分野における深い業界知識と経験を最大限に活用し、GGC の急拡大する国内カット野菜市場におけるプレゼンス拡大、及び積極的な海外進出を実行するための永続的な経営基盤の構築を支援します。なお、今後の経営につきましては、引き続き代表取締役である水本勝清氏を中心とする現経営陣に執行していただきます。

この度の戦略的業務資本提携にあたり、両社代表は以下の通りコメントを発表しています。

●GGC グループ株式会社 代表取締役 水本 勝清氏：

「当社の海外展開を促進するにあたり、カーライル・グループが培ってきたグローバルでの知見やネットワークをととても魅力的に感じています。さらに、国内においてまだまだ当社の市場シェアが限定的なカット野菜市場に対しては積極的に拡販を進めたいと考えているため、日本においても数々の実績を誇るカーライル・グループとの提携によって、我々の事業スピードを格段に上げ、企業価値を向上させていけることと確信しています。そして、こうした取り組みを通して、安全安心な食をより多くの家庭に届けていくことで、地域社会へ大きく貢献をしていきたいと考えています。」

●カーライル・グループ日本代表 山田 和広氏：

「もやしはスーパーマーケットにおいて牛乳や卵に次いで購入される食材で、古くから親しまれている日本の食卓に欠かせない食品です。GGC は、地元の豊富な水資源、人材、優れた製造技術及びサプライチェーンマネジメントのノウハウを活かすことで、日本一の売上を誇る「名水美人」に代表される高品質且つ安全なもやしを継続的に一般家庭の食卓に届けています。特に、食品偽造等により食の安全が脅かされている昨今において、安心安全な食品を供給し続けるということ

# THE CARLYLE GROUP

で、当社は食品会社として重要な使命を果たしてきたと感じています。GGCは、今後の成長戦略として、急成長を遂げている国内カット野菜市場における拡販や、積極的な海外進出を掲げており、更なる進化にチャレンジしています。こうしたチャレンジする企業を最大限サポートしていくことはカーライルの投資哲学にまさに合致するものであり、今回の戦略的業務資本提携に合意できたことを非常に嬉しく思っております。」

## 【GGC グループ株式会社 概要】

会社概要	
会社名	GGC グループ株式会社
設立	2011年4月27日
代表者	代表取締役 水本 勝清
本社	岡山県小田郡矢掛町中 205 番地
事業内容	もやし、ミックスもやしの製造・販売
主要子会社	株式会社グローバル・グリーン・コーポレーション (緑豆調達、もやし・ミックスもやしの販売、設立：1990年2月8日) 九州ジージーシー株式会社 (もやし・ミックスもやしの製造、設立：1990年3月14日)

## 【カーライル・グループについて】

カーライル・グループ(CG:NASDAQ)は、グローバルに展開するオルタナティブ(代替)投資会社で、2015年12月31日現在、126のファンドおよび160のファンド・オブ・ファンズを運営し、その運用額は総額で1,830億ドルにのぼります。カーライルの目的は、多くが年金基金である投資家のために、賢明な投資を行い価値を創造することです。カーライルは、アフリカ、アジア、オーストラリア、ヨーロッパ、中東、北米、南米において、4つの分野「コーポレート・プライベート・エクイティ」「リアルアセット」「グローバル・マーケット・ストラテジー」「インベストメント・ソリューション」で投資活動を展開しています。カーライル・グループは、航空・防衛、ガバメントサービス、消費財・小売、エネルギー、金融、ヘルスケア、一般産業、不動産、テクノロジー、サービス、通信、メディア、輸送など、幅広い業界における知見を有しています。現在世界6大陸の36のオフィスに1,700名以上の社員がいます。

カーライルは、グローバルに展開するオルタナティブ投資会社の中で唯一、日本に特化した円建てのバイアウト・ファンドを運用しており、これまでにバイアウト・ファンドより国内で20件の投資を実行してまいりました。また、カーライルは、日本の中堅企業の海外展開、事業効率の改善、経営インフラの強化などを支援してきた実績を有します。2015年9月には、日本のバイアウト投資向け第3号ファンドであるカーライル・ジャパン・パートナーズⅢにつき、1,195億円(約10億ドル)のファンド規模により募集を完了いたしました。